

## 地名に詰まった先人の思い

## 地名の意味

ある日の昼下がり、険太くんの足は今日も近所の空き地に向かいます。近在のネコを集めた井戸端会議で議長を務めるネコっちに会うためです。

「やあ、ネコっち。今年の夏も台風の影響で日本のあちこちで被害が出ているね」

「そうだね。台風は雨や風の被害だけでなく、例えばその雨が原因で農作物が高騰したりとか、及ぼす影響は大きいんだ」

「そうなんだ。それにしても、日本って台風が多いよね？」

「日本は台風銀座と呼ばれるくらい台風の通り道になっているから、被害の大小はあるけれど、水害は毎年起こっているんだ。台風情報は常にしっかりとチェックが必要だよ」

「地理的なことで、日本は自然災害を避けられないんだね」

「そうなんだ。だから、災害に対する戒めが古来の地名には残っているんだニ



険太くん

台風は速度も進路もどんどん変わるから、常にチェックして、しっかりと備えることが大切だニャ。



ネコっち♪

## ネコっちのお話⇒『昔から残る地名には必ず意味があるんだニャ』

2014年の8月、広島市安佐南区の八木地区で豪雨による大規模な土砂災害があったけれど、八木地区の元々の地名は「八木蛇<sup>やぎじゃらくじあしだに</sup>落地悪谷」といったんだ。地名に「蛇」があるのは、蛇が崖から落ちてくるほどに土砂災害が多かったり、あるいは災害が起こると蛇が通ったような跡が残ることから名づけられたという説があるんだ。谷や窪、沢、下、溝、沼などの字が地名に入っているとそこは低地であることが多く、萩、蒲、菅、蓮、鶴などの地名は軟弱地盤である可能性が高いと言われているよ。「昔の人は偉かった」ってよく言うけど、だったら昔の人の知恵に無頓着にならずに積極的に学びたいものだよ。地名という身近なものにさえ、その土地の意味と先人の教訓が詰まっているんだニャ。

★保険に関する疑問は、些細と思われ  
ることでもご遠慮なくお電話ください。

株式会社 みらいふ

住所：京都市右京区西京極午塚町30

TEL：075-863-0808 FAX：075-863-0809

Mail：news@k-milife.co.jp

